



午前7時、不動の滝キャンプ場を一斉にスタートするランナー。

「南アルプス マウンテンマラソン」開催

800人以上のランナーが
町内の山道を駆け抜ける

11月20日、町内の林道や登山道を通るマラソン大会「南アルプスマウンテンマラソン」(同実行委員会主催)が開催され、県内外から参加した約830人が、普段は静かな山中を次々と駆け抜けていきました。

コースは、不動の滝キャンプ場(下泉区)をスタート・ゴール地点とし、川根大橋たもとの広場「つつみ遊園地」(小長井区)で折り返す全長45^キの道のり。「つつみ遊園地」をゴール地点とする22.5^キのハーフ部門も設けられ、ランナーはそれぞれのペースで晩秋の川根本町を楽しみました。

大会の開催にあたっては、「トランスジャパンアルプスレース」を4連覇中の望月将悟さん(静岡市消防局)が大会プロデューサーを務め、町内の有志を中心に1年をかけて準備をしてきました。また、町民を中心に約170人のボランティアスタッフが運営に協力し、コース上には万が一の事態に備えてAEDを携えた救護専門ボランティアも配置されました。

さらに「つつみ遊園地」には、地元特産品が味わえるエイドステーションが設けられました。商工会が中心となり、自然薯ご飯やイノシシ汁、茶ようかんなどが振る舞われ、ランナーたちは「おいしい」と笑顔で頬ばっていました。



1北海道から沖縄県まで、全国各地からランナーが集結した。／2おもてなしあふれるエイドステーションでは、特産品に舌鼓。／3沿道からの温かい声援に足取りも軽くなる。

フル:45.0km
ハーフ:22.5km

千頭駅 つつみ遊園地

Couse Map

国内のマラソン大会でプランナーの実績がある小泉成行さん(崎平区)がコースディレクターを務め、コースのうち未整備または荒廃している区間は、ボランティアスタッフによって事前に整備されました。不動の滝キャンプ場を出発し、無双連山(標高1083m)山頂を経由して、つつみ遊園地に向かいます。ハーフ部門は同地点がゴールとなり、フル部門はここで折り返して、再びキャンプ場を目指します。



1 数百人のランナーが一気に駆け上る様子は圧巻。2 踏み慣らされていない、ふかふかなコースの感触が足に伝わる。3 唯一、住宅街を走る区間。多くの地域住民がランナーを見守った。4 35*地点のミニエイド。ここからゴールまで、もうひと踏ん張り。

Congratulations!

階段が少なく、走りやすいコースだと思います。折り返し地点では沿道から温かい声援をいただき、「あと半分頑張ろう」と気持ちが引き締まりました。とはいえ、終盤の小刻みなアップダウンは、苦しかったですね。



男子フル部門 優勝
加藤 聡 さん (名古屋市)

コースの序盤は、ずっと登りが続いてキツかったですね。でもその分、山頂付近は空気がヒンヤリとしてとても気持ちよかったですよ。ぜひ多くのランナーにオススメしたい素晴らしい大会だと感じました。



女子フル部門 優勝
大石 由美子 さん (御前崎市)

Interview

この町は、視点を変えれば「玉の山」にあふれている。大会を通して、改めてそのことを確信しました。

解決しなければと考えています。

この町は、視点を変えれば「玉の山」にあふれている。大会を通して、改めてそのことを確信しました。

一方、課題も明らかになりました。例えば、この大会はランナーに町内のキャンプ場で前泊してもらおうという特徴がありますが、現状のままでは受け入れ体制が不完全だと痛感しました。また、町民に向けての告知も不十分だったので、次回は町民向けの説明会とボランティアスタッフ募集にも力を入れたいと思います。まずはしっかりと組織基盤を構築し、ひとつずつ確実に解決していければと考えています。

多くのの方に雄大な自然を堪能してもらいたい、また、ここに住んでいると当たり前と感じてしまう魅力を地元の方々が再認識する機会にしたい、という思いから、この大会を企画しました。実際、参加したランナーからこの町のおもてなしや自然を評価してもらえたこと、すでに次回大会を手伝いたいという声が町内から多く寄せられていることは、大きな成果だと考えています。

ボランティアスタッフや関係者の皆さんのご協力がなくては決して開催できない大会だったと改めて実感し、本当に感謝の思いです。



南アルプスマウンテンマラソン大会実行委員会
委員長 鈴木 諭 さん (上長尾区)